平成20年度第1回共同実験結果報告書(ひ素)

事業所名			
分析担当者氏名		経験年数	
環境計量士氏名	連絡月	月TEL	
連絡用FAX	連絡用メー	ールアト・レス	
分析開始日	分析紀	冬了日	

※経験年数は今回使用した分析方法の今までの経験年数を記入してください

分析結果

試料名	1	2	3	4	5	報告値
試料 1						
試料 2						

※単位はmg/Lで記入し、有効数字3桁で記入してください

※複数回測定した場合は、平均濃度を記入してください

測定方法

ジェチルジ・チオカルハ・ミン	水素化物発生	水素化物発生ICP	ICP質量分析法
酸銀吸光光度法	原子吸光法	発光分光分析法	

※用いた測定方法の項目に〇を記入してください

意見・感想

前処理の詳細

	配布試料からの分取量		ml
	希釈した試料の定容量		ml
	希釈試料からの分取量		ml
	加熱温度/時間	/	
試料 1	使用した酸の種類		
	使用した酸の量		
	最終溶液	酸の種類/酸濃度(mol/L)	/
	最終定容量		ml
	最終溶液のろ過	1.行った 2.行わなかった	
	配布試料からの分取量		ml
	希釈した試料の定容量		ml
	希釈試料からの分取量		ml
	加熱温度/時間	/	
試料 2	使用した酸の種類		
	使用した酸の量		
	最終溶液	酸の種類/酸濃度(mol/L)	/
	最終定容量		ml
	最終溶液のろ過	1.行った 2.行わなかった	

			1.絶対検量線	法 2.その他			
定量方法			ヨウ化カリウ	ム還元時間			(min, hr)
			ひ素の測	測定波長			nm
	梅维店	本の細制 汁		1. 自己調製液 2. 市販標準原	原液 3. その他	ļ	
標準液	保华原	液の調製法		標準原液の製造元			
	標準液	を の作成日					
				メーカー名			
使用機器	:	分光光度計の登	민式	型式			
				購入年月日			

試料測定データ

分析項目 ひ素

		1	2	3	4	5	平均值
試料 1(低濃度)	吸光度						
試料 2(高濃度)	火 无良						

検量線データ

検量線	у=	× x +	直線性	r²=	
-----	----	-------	-----	-----	--

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5
濃度						
吸光度						

定量法 ひ素の測定波長 水素化物発生装置 1.連続式 2.バッチ式 試料導入法等 1.手動 2.自動			1.絶対検量制	泉法 2.その他				
水素化物発生装置			ヨウ化カリウ	7ム還元時間				(min, hr)
試料導入法等	定量法		ひ素の	測定波長				nm
		;	水素化物発生装	置		1.連続式 2.バッ	 チ式	
1. 自己調製液 2. 市販標準原液 3. その他			試料導入法等	Į.		1.手動 2.自動	b	
		極後原法の部制さ		1. 自己調製液	2. 市販標準原	原液 3. その他		
標準原液の調製法 標準液 標準液の製造元	標準液	保牛原液の調袋法		標準原液	の製造元		·	
標準液の作成日		標準液の作成日				·		
メーカー名				メーカ]一名			
フレーム原子吸光光度計の型式型式		フレーム原子吸光光	度計の型式	型	式			
購入年月日	左 田 機 即			購入年	₹月日			
使用機器メーカー名	12. 用饭品			メーナ]一名			
水素化物発生装置の形式型式		水素化物発生装	置の形式	型	式			
購入年月日				購入年	 月日			

試料測定データ

分析項目 ひ素

		1	2	3	4	5	平均値
試料 1(低濃度)	吸光度						
試料 2(高濃度)	火 兀及						

検量線データ

試料 1(低濃度)

検量線 y= x x + 直線性 r ² =

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5
濃度						
吸光度						

試料 2 (高濃度):低濃度と同じであれば記入不要です

	検量線	<i>y=</i>	× x +	直線性	r ² =		
--	-----	-----------	-------	-----	------------------	--	--

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5
濃度						_
吸光度						

			1.絶対検量緩	法 2.その他				
			ヨウ化カリウ	ム還元時間				(min, hr)
			ひ素の測	則定波長				nm
定量法		水	素化物発生装	置		1.連続式 2./	「ッチ式	
			試料導入法等			1.手動 2.[自動	
			高周》	皮出力				kW
			試料注入法		1.	自動(オートサンプ	ラー) 2.手動	
標準原		本の細制:は	1. 自己調製液 2. 市販標準			原液 3. その他		
標準液	保华 原	保午ぶ次の調教公		標準原液	の製造元		·	
	標準液	の作成日	の作成日			·		
				メーカ]一名			
		ICP-AESの型	!式	型	式			
使用機器				購入名	∓月日			
15.7710或46				メーカ]一名			
水		水素化物発生装置の型式		型	式			
				購入名	手月日			

試料測定データ

分析項目 ひ素

		1	2	3	4	5	平均値
試料 1(低濃度)	発光強度						
試料 2(高濃度)	光况强度						

検量線データ

試料 1(低濃度)

	濃度								
		ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5	標準液6	標準液7
検量線	<i>y=</i>	× x +		直線性	r ² =				

試料 2 (高濃度):低濃度と同じであれば記入不要です

標準液の発光強度

検量線	v=		× x +		直線性	r ² =	
-----	----	--	-------	--	-----	------------------	--

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5	標準液6	標準液7
濃度								
標準液の発光強度								

			1.内部標準》	去 2.その他				
		ひ素の測定質量数(m/z)						
			内部標準物	物質の名称				
定量法		内部標準物質の測定質量数(m/z)						
		高周波出力					kW	
			試料導入法等		1	.連続噴霧器 2.5	超音波噴霧器	
			試料注入法			自動(オートサン	プラー) 2.手動	
	播维店			1. 自己調製液	2. 市販標準原	原液 3. その他		
標準液	保华原/	夜の調製法 ―――――		標準原液	の製造元			
	標準液	の作成日						
				メーナ	一名			
使用機器 ICP-M		ICP-MSの型	CP-MSの型式		式			
				購入年	F月日			

試料測定データ

		1	2	3	4	5	平均値
	測定物質イオン強度						
試料 1(低濃度)	内部標準イオン強度						
	強度比						
	測定物質イオン強度						
試料 2(高濃度)	内部標準イオン強度						
	強度比						

検量線データ

試料 1(低濃度)

検量線 y=	× x +	直線性	r ² =	
--------	-------	-----	------------------	--

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5
濃度						
測定物質のイオン強度						
内部標準のイオン強度						
強度比						

試料 2 (高濃度):低濃度と同じであれば記入不要です

検量線	<i>y</i> =	× x +	直線性	r ² =	
-----	------------	-------	-----	------------------	--

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5
濃度						
測定物質のイオン強度						
内部標準のイオン強度						
強度比						